



2021年10月20日

各位

会社名 株式会社 エプコ
代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
(コード番号 2311 東証第一部)
問合せ先 代表取締役 CFO 吉原 信一郎
(TEL. 03-6853-9165)

2021年9月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2021年9月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2021年9月度の月次業績（連結）

(単位：百万円)

	9月度			期初来累計		
	前期	今期	前年比	前期	今期	前年比
売上高	385	409	106%	3,154	3,470	110%
D-TECH 事業	191	200	105%	1,671	1,698	102%
H-M 事業	103	110	107%	902	989	110%
E-Saving 事業	63	72	115%	312	559	179%
システム開発事業	27	25	93%	268	223	83%
持分法投資損益	△15	△8	-	9	△64	-

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) E-Saving 事業は、2020年4月より新設されたセグメントであるため、2020年3月以前の業績はございません。

(注3) 持分法投資損益は、TEPCO ホームテック株式会社（以下、THT）に関する損益を表示しております。

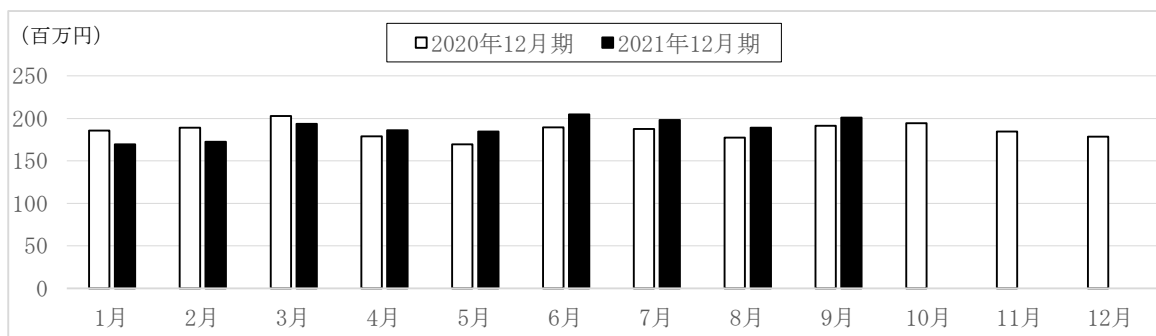
以上

■ (参考情報) 主な事業の業績推移

● D-TECH 事業 売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	169	172	193	185	184	204	198	188	200			
前年同月比	91%	91%	96%	104%	109%	108%	106%	106%	105%			
うち、BIM 関連 売上高	0	1	7	1	0	1	1	1	3			
累計	169	342	535	721	906	1,111	1,309	1,497	1,698			
前年同期比	91%	91%	93%	95%	98%	100%	101%	101%	102%			

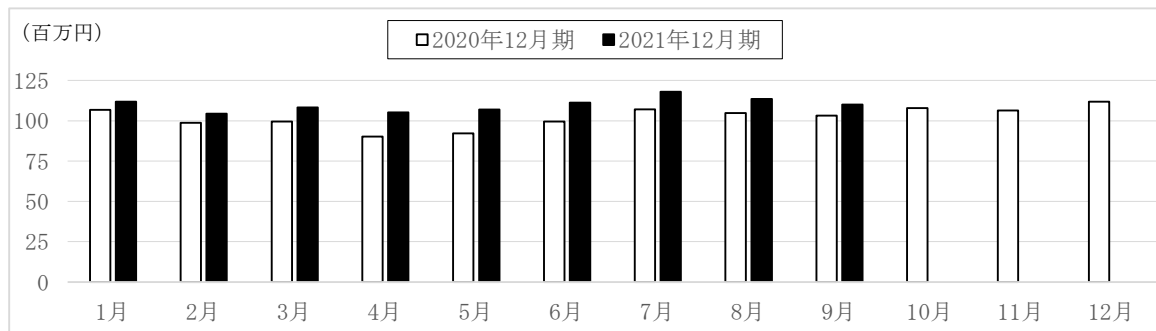


当月の売上高は200百万円（前年同月比105%）となりました。
 主たる増収要因は、新設住宅着工戸数が増加基調にあり、設備設計業務に関する設計受託件数が増加したことによるものです。なお、中国における停電に関する報道がございますが、現段階で当社のシンセン・吉林設計拠点において直接の影響はございません。万一、停電の影響が生じた場合、事業継続計画（BCP）に基づき他拠点に業務を引継ぐことで、業務への影響を最小限にする対応を実行致します。

● H-M 事業 売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	111	104	108	105	106	111	117	113	110			
前年同月比	105%	106%	109%	116%	116%	112%	110%	108%	107%			
うち、CRM 関連 売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
累計	111	216	324	429	536	647	765	879	989			
前年同期比	105%	105%	106%	109%	110%	110%	110%	110%	110%			

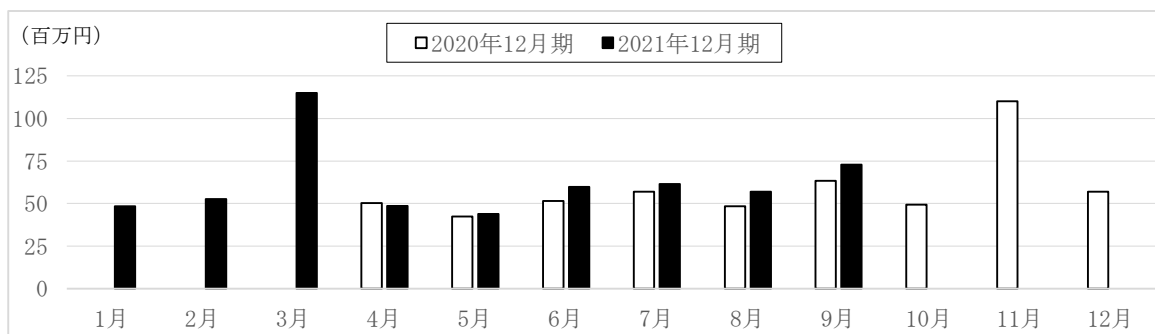


当月の売上高は110百万円（前年同月比107%）となりました。
 主たる増収要因は、得意先（住宅会社等）からの預かり施工数が堅調に増加（2021年9月末現在157万件、前年同月比+3.3%）していることによるものです。今後は、家歴データとアプリを活用した新サービスの開発・提案に注力してまいります。

● E-Saving 事業 売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	48	52	114	48	43	59	61	56	72			
前年同月比	-	-	-	97%	104%	116%	108%	118%	115%			
うち、THT 関連 売上高	0	1	6	0	1	1	11	5	4			
累計	48	101	216	264	308	368	429	486	559			
前年同期比	-	-	-	527%	333%	255%	214%	195%	179%			

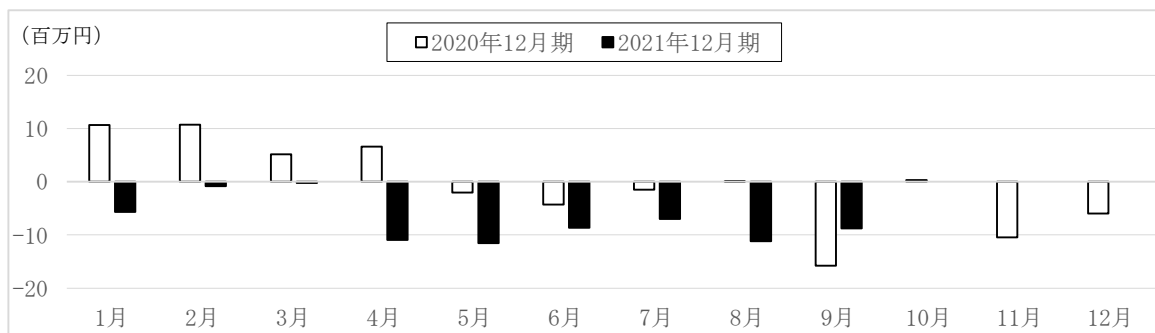


当月の売上高は72百万円（前年同月比115%）となりました。
 主たる増収要因は、住宅会社向け蓄電池工事に関する売上が増加していることによるものです。
 ※ E-Saving 事業は、2020年4月より新設されたセグメントであるため、2020年1～3月度業績については該当ありません。

● 持分法投資損益 (THT：TEPCO ホームテック)

(単位：百万円)

	2021年12月期 (2021年1月1日～2021年12月31日)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
持分法投資損益	△5	△0	△0	△10	△11	△8	△6	△11	△8			
前年同月比	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
累計	△5	△6	△6	△17	△29	△37	△44	△55	△64			
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	-	-			



当月の持分法投資損益は、△8百万円（前年同月△15百万円）となりました。
 直近の持分法投資損益 (THT) は、東京電力グループの営業活動自粛により個人向けの電化リフォーム提案が減少し軟調に推移しております。一方で、直近では、TEPCO ホームテックの太陽光発電定額利用サービス「エネカリ」が、株式会社アーネストワンが施工する建売分譲住宅に採用されました。これらの住宅会社と連携した新築向け電化住宅工事の受注拡大により、業績改善を図ってまいります。

以上